

# ICTを活用した安全技術「ICT安全」の事例

1枚に1技術を目安に記載願います

JCMA機電i-Con現場WG

発行No  
A-09

<b>■ 技術名称</b>	
超局所リアルタイム熱中症リスク管理システム	
<b>■ 基本情報</b>	
発注者	
会社名	
工種 (大項目)	ダム / トンネル / シールド / 造成 / 舗装 / 橋梁 / 構造物 / その他 (民間)
工種 (小項目)	全工種
仕様	発注者指定 / 受注者独自
採用事由	①ICT対象工事 ②技術提案 ③自主導入 ④創意工夫 ⑤その他 ( )
採用目的	災害防止 / 危険有害要因の低減 / <u>メンタルヘルス</u> ・作業環境の改善 / その他 ( )
<b>■ 実施内容詳細</b> (危険事例や想定だけの場合は本欄の記入は不用。)	
対象数量	例) ●●に位置する法面○○m2、道路造成○○m3など
活用ICT	無人化・省人化 / 人・ <u>行動センシング</u> / 機械センシング / その他能力支援 ( )
システム業者	倉敷紡績株式会社
導入効果・検証 (1)	暑さの影響 (負担、負荷) と暑熱順化を評価可能
導入効果・検証 (2)	作業強度 (負担) を評価可能
導入効果・検証 (3)	体調変化などを評価可能

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
<b>■ 参考図・写真</b>	
<p>The diagram illustrates the system's workflow. A worker wears a Smartfit device that collects vital signs (heart rate, acceleration, body temperature) and transmits them to an IoT cloud platform. The platform processes the data and sends notifications to workers and managers. It also integrates weather information and emergency response data.</p>	
<b>■ 欲しい安全機能、改善したい機能</b>	
<p>生命情報 (心拍数・加速度・衣服内の温度)をクラウド上にデータを送信するために作業者に個別のスマートフォンを保有する必要がある。個人のスマートフォンからデータ送信できるようなアプリが欲しい。</p>	
<b>■ 課題・要望事項</b>	
<p>費用は5万円/人(導入費・通信費含む)と高価なため、建設現場で導入するにはもう少し価格設定の調整及び導入業者の精査が必要である。</p>	